

分析作業を自動化すると、魔法は起きる！

企業名

ビーエルテック株式会社

<https://www.bl-tec.co.jp/>



事業内容

- 自動分析装置の設計開発及び製造販売
- 自動分析装置の輸入販売
- 分析メソッドの開発

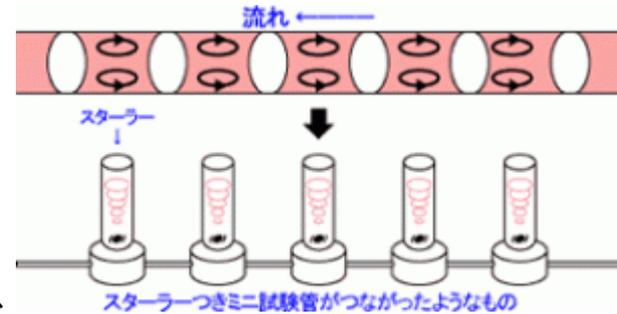


希望マッチング先

環境分析，化学分析の分析操作の自動化，省力化装置の開発，販売を行う会社です。排水や環境水，工場排水の全窒素や全リン，ふっ素シアンフェノール類等項目の公定分析法に指定されている，連続流れ分析装置を主に扱っております。工場や事業所で行っている手分析を，自動化・省力化しませんか？

連続流れ分析装置

Continuous Flow Analysis (連続流れ分析：CFA) と呼ばれている原理を用いた自動化学分析装置であり、蒸留、透析、抽出などの前処理も自動化が可能です。水道水や環境水などの水質試験、食品や土壌・肥料の成分分析、さらに、医薬品の分析等に利用することができます。

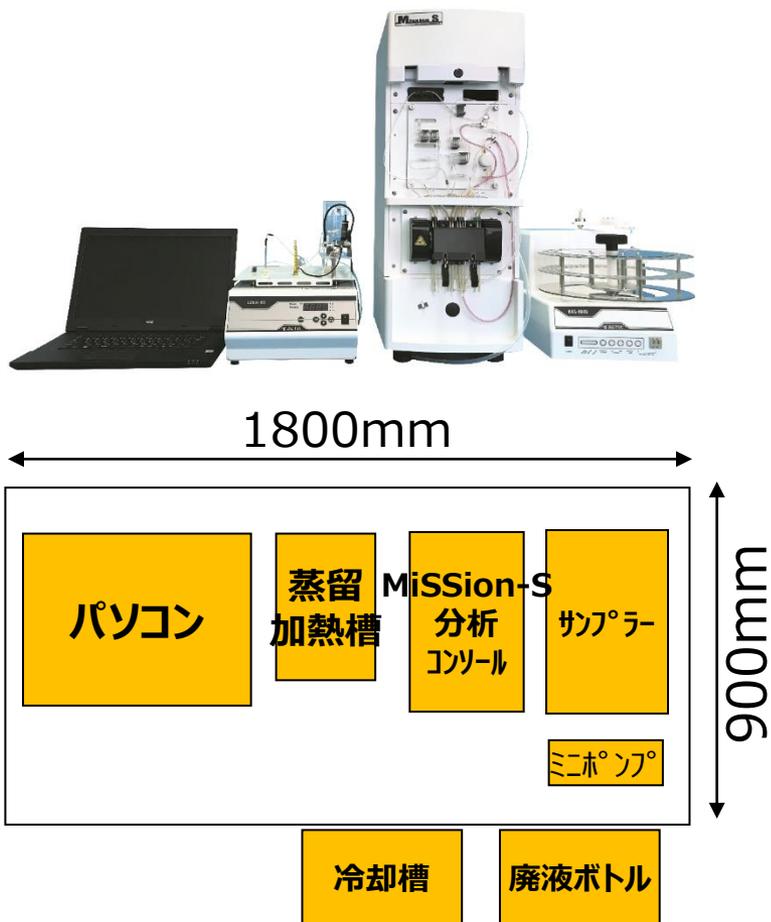


【測定対象項目】

- ・全窒素全りん (オートクレーブも自動処理)
 - ・ふっ素, シアン, フェノール類 (オートクレーブも自動処理)
 - ・硝酸, 亜硝酸, アンモニア, リン酸 その他
- ※吸光光度法で測定できるものであれば色々な項目に対応可能!

ふっ素・シアン・フェノール類 測定用オートアナライザー

例 オートアナライザー MiSSion-S 蒸留項目マルチ1ch（1項目毎測定）



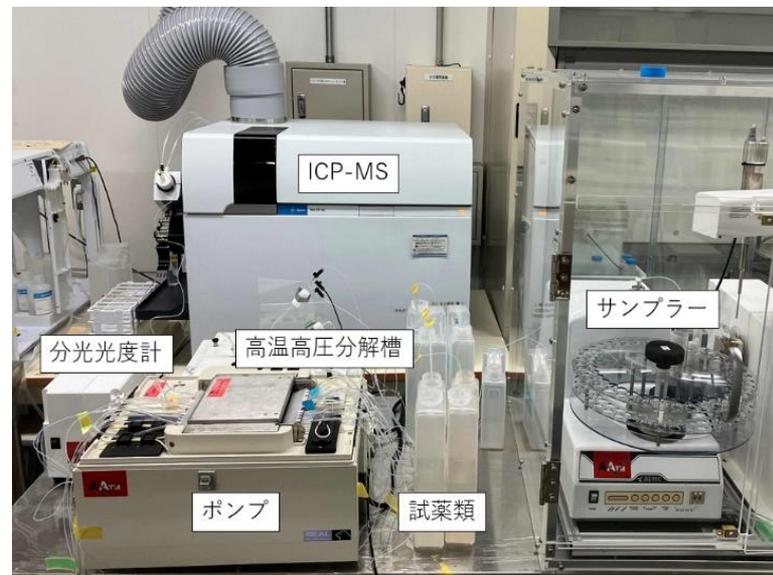
1時間に20～30検体測定可能
蒸留を全自動化
光学系がLEDランプになったことで
ベースラインがより安定化

項目	測定範囲例
ふっ素	0.08～(mg/L)
シアン	0.01～(mg/L)
フェノール類	0.02～(mg/L)

酸添加加熱分解装置 AATM(アトム)

【AATM (アトム) とは】

AATMは、マグネティックスターラーを用いた攪拌、測定試料の希釈、硝酸等酸の添加、加熱及び加圧、放冷、ICP-MSへの酸分解後の測定試料の供給、ICP-MS装置へのスタート信号の伝達までを一連の流れの中で、かつ連続的に行うことができる装置です。



作業効率の差の比較

●これまでの作業手順



メスシリンダーに
サンプルを分取



ビーカーに移し替
え硝酸添加加熱



放冷後メスフラに
てメスアップ



バイアルに移
し替え



※アジレントテクノロジー 様 HPより引用



オートサンプラーにセット
ICP-OES又はICP-MSにて
測定



サンプルをバイアルに
移し替え



その後の作業を連続的にAATMが実施！

大幅な作業手順の省力化が可能！

お問い合わせ先

ビーエルテック株式会社
開発製部 東京R&Dセンター
担当:熊澤 頼博

TEL:03-5847-0252

E-mail:y.kumazawa@bl-tec.co.jp